

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和03年01月19日

計画の名称	函館港における安全でにぎわいのある港づくり（第2期）												
計画の期間	令和03年度～令和07年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	函館市												
計画の目標	地域の特性や優位性を活かした学術・研究機関が集積する水産・海洋の拠点形成にあたり、緑地の整備をおこない、港湾環境の向上を図る。 市民や観光客が港や海に接することができる親水空間を整備するとともに、函館港発祥の地として歴史的港湾施設の保存修復を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,841	A	1,841	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 R03度当初	中間目標値 R05度末	最終目標値 R07度末
1	函館港弁天地区緑地の利用者数 弁天地区緑地利用者数を測定する	0人/年	0人/年	26000人/年
2	函館港末広地区緑地の利用者数 末広地区緑地利用者数を測定する	600000人/年	800000人/年	800000人/年

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
港湾事業	A02-001	港湾	北海道	函館市	直接	函館市	重要	建設	弁天地区緑地の整備	緑地 A=1.8ha	函館市/函館港 ・弁天地区	■	■	■	■	■	913		—
	A02-002	港湾	北海道	函館市	直接	函館市	重要	建設	末広地区緑地の整備	緑地 A=0.4ha	函館市/函館港 ・末広地区	■					928		—
											小計						1,841		
											合計						1,841		

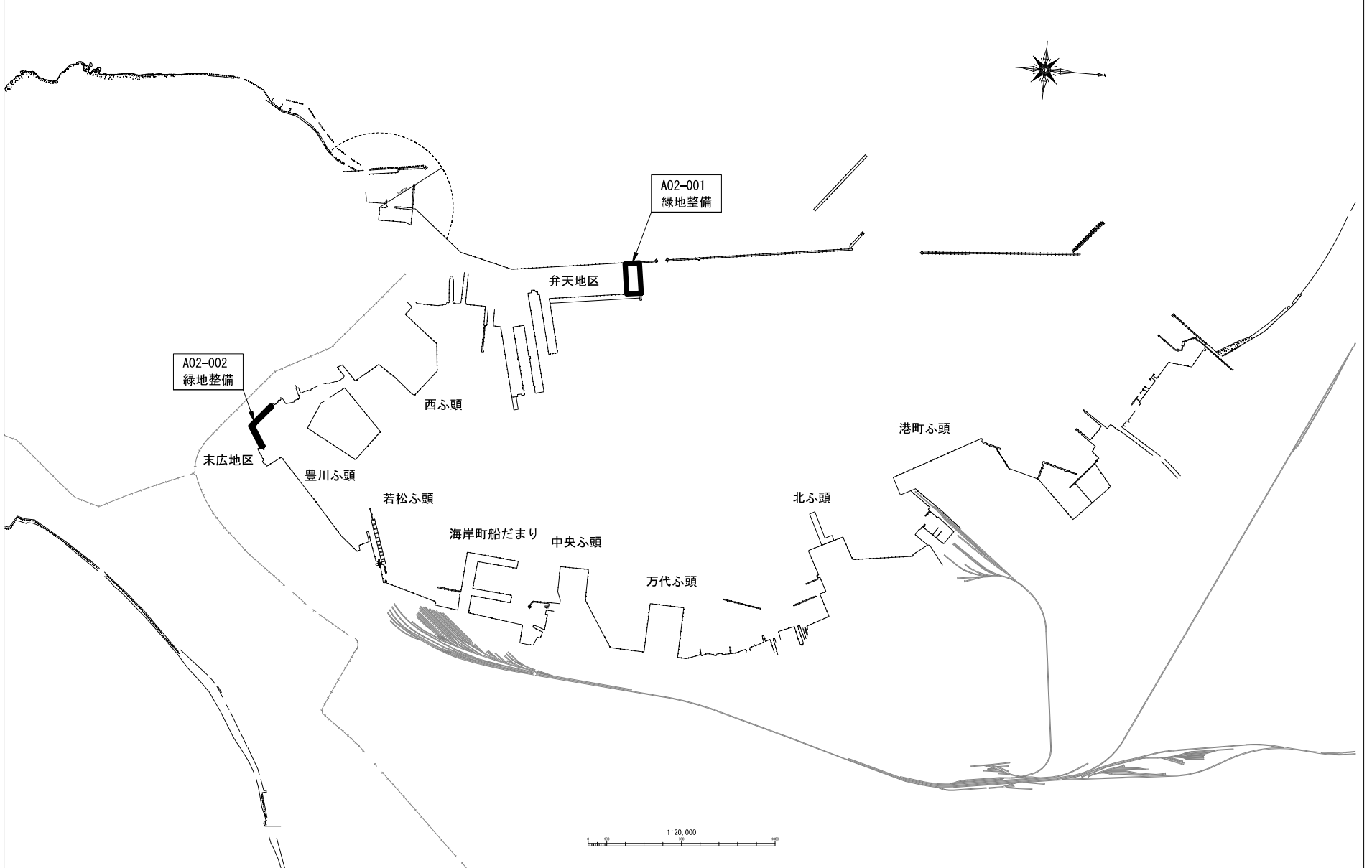
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03				
配分額 (a)	21				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	21				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	20				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	1				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	4.76				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考図面) 社会資本総合整備計画 (総合交付金)

計画の名称	函館港における安全でにぎわいのある港づくり (第2期)	交付対象	函館市
計画の期間	令和3年度～令和7年度 (5年間)		



事前評価チェックシート

計画の名称： 函館港における安全でにぎわいのある港づくり（第2期）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題を踏まえて整備計画の目標が設定されている	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
II. 計画の効果・効率性	
②定量的指標の明瞭性	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業効果（要素事業の相乗効果）の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境（事業習熟，住民等の同意形成を踏まえた事業実施の確実性）	○
III. 計画の実現可能性	
②地元の機運（住民，民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発言の確実性）	○